

# PLC 561 → PLC 761 (ver. 2.0) への アップグレードのご紹介

= PLC 561 の装置類を生かしたまま、より便利なソフトウェアをお使いいただけます =

## アップグレードの概要

この度、新HPLC分取システム PLC 761 (ver. 2.0) をリリースしました。PLC 561、PLC 761 (ver. 1.0) をご使用のお客様からのご要望を反映し、より便利にご使用いただけるものを目指して開発した製品です。

PLC 561 をご使用のお客様は、一部装置を流用し、PLC 761 へアップグレードが可能です。

送液ポンプ、オートサンプラー、カラムオープン、検出器類、フラクションコレクターを流用できます。

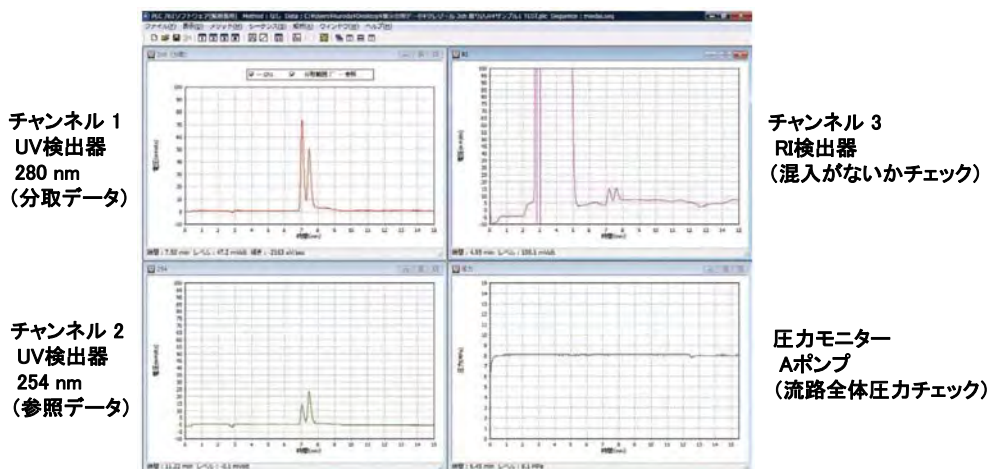
PLC 761 ソフトウェア、ソフトウェア対応PC、システムコントローラー SC762、新型リサイクルバルブ、新型インジェクションバルブなどは更新が必要となります。

価格などの詳細は、お問い合わせください。

## PLC 761 の主な機能

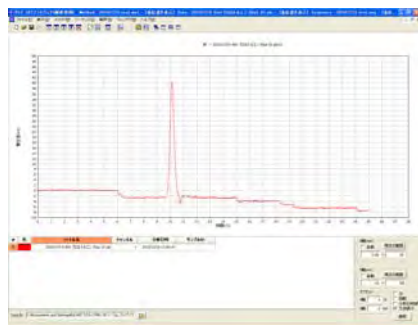
### ☆ 3チャンネル同時モニター + 圧力モニター機能

- ・データ取り込みチャンネルを3つに拡張しました。例えば下図のように、UV検出器 2チャンネル、RI検出器 1チャンネルの同時測定が可能です。分取に使用するチャンネルはソフトウェアで任意に設定できます。
- ・圧力モニター機能により、グラジエント溶出時の初期溶媒への戻りを確認できます。

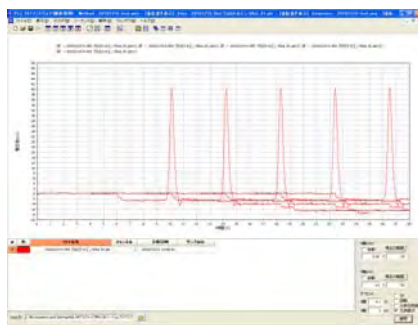


### ☆ オーバーラップインジェクション、クロマトグラムの重ね書き

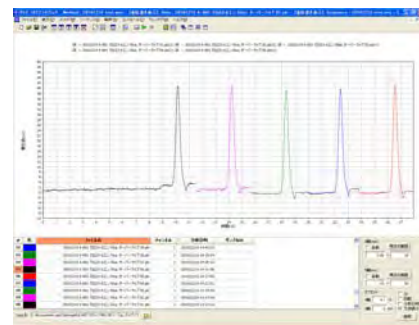
- ・オーバーラップインジェクションを用いて、時間短縮、溶媒節約ができます。下図では、10分に溶出するサンプルを連続してインジェクションし、全体の時間を短縮し分取の効率を上げています。



溶出時間10分のピーク



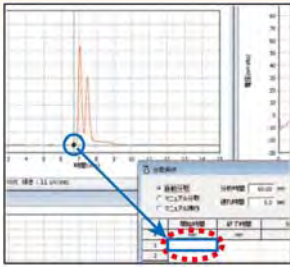
重ね書き画面でシミュレーション



30分で5回のオーバーラップインジェクション結果

## ☆ マウスを使って簡単に分取条件の設定が可能

一度採取したクロマトグラム上にマウスを移動し、分取条件画面へドラッグ & ドロップをすることにより、分取開始時間、終了時間などの設定が行えます。



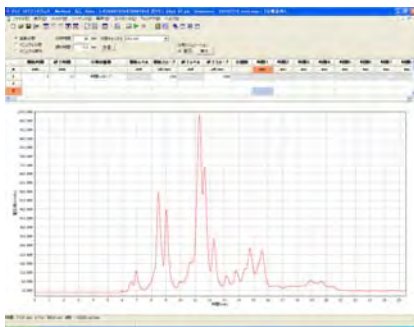
分取条件の設定画面

※ 分取の種類を「時間」、「時間 + レベル」、「時間 + スロープ」、「時間 + レベル + スロープ」の4タイプから選べます。また、それぞれの設定において「分割あり」、「分割なし」を選択できます（分割数は30まで）。

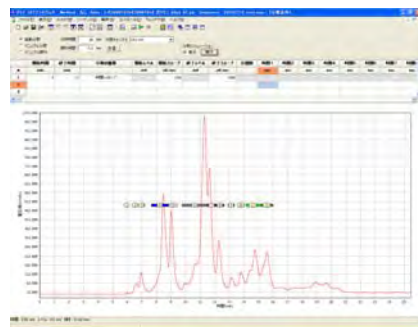
※ 分取開始レベルと終了レベル、開始スロープと終了スロープに個々の値を設定できます。

## ☆ 分取シミュレーション

シミュレーション機能を使用すると、実際に分取を実行する前に、入力した分取条件に基づいた分取予測結果を表示できます。よって、「分取条件の見落としがないか」または「どのピークが何番のフラクションチューブに分取されるか」などをイメージすることができます。より確実に分取を行うための機能です。



分取条件設定画面でデータを開き、分取に必要なパラメーターを入力



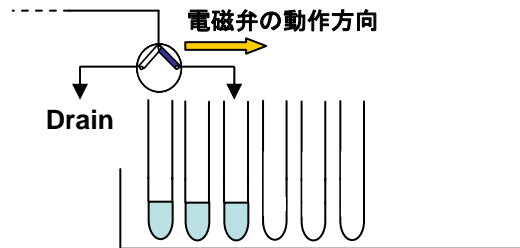
分取シミュレーション結果

## ☆ フラクション容量の任意設定

フラクションチューブが次のチューブに移動するための閾値を任意に (0.1 ~ 999,999 mL) 設定できるようになりました。「試験管に少しずつ分取したい」といったご要望にも対応できます。また、下記ラックに搭載できるサイズであれば、ディスポーザブル試験管なども使用可能です。ロートの先に 3 L ガロン瓶などをつなぎ、3 L を閾値に設定することもできます。

### フラクションチューブのラインアップ

- 100 × 10 mm O.D. (4.5 mL、432本)
- 100 × 13 mm O.D. (9 mL、240本)
- 180 × 18 mm O.D. (32 mL、176本)
- 118 × 30 mm O.D. (50 mL、40本)
- 100 × 56 mm O.D. (100 mL、16本)
- 138 × 70 mm O.D. (250 mL、12本)
- ロート (12本)



32 mL の試験管に 8 mL ずつの分取 イメージ

- 掲載している価格には消費税が含まれていません。
- 改良のため、型式、価格、仕様などにつきましては予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本カタログに掲載している会社名および製品名は、それぞれ該当する各社の商標、または登録商標です。
- 本文中には TM および ® マークは明記していません。

本 社 〒163-1130 東京都新宿区西新宿6丁目22番1号 新宿スクエアタワー30F  
TEL.03 (5323) 6611 FAX.03 (5323) 6622  
<http://www.gls.co.jp> E-mail:info@gls.co.jp



# ジルサイエンス株式会社

東京営業部	TEL.03 (5323) 6611	FAX.03 (5323) 6622
大阪支店	TEL.06 (6357) 5060	FAX.06 (6357) 4580
横浜支店	TEL.045 (985) 7900	FAX.045 (985) 7901
東北営業所	TEL.024 (533) 2244	FAX.024 (536) 1518
筑波営業所	TEL.029 (858) 3700	FAX.029 (858) 3780
千葉営業所	TEL.043 (248) 2441	FAX.043 (248) 2485
北関東営業所	TEL.048 (667) 1611	FAX.048 (667) 1656
名古屋営業所	TEL.052 (931) 1761	FAX.052 (931) 1814
広島営業所	TEL.082 (233) 1101	FAX.082 (233) 1110
九州営業所	TEL.092 (291) 5200	FAX.092 (291) 2552

総合技術本部	TEL.04 (2934) 2121	FAX.04 (2934) 2128
カスタマーサポートセンター	TEL.04 (2934) 1100	FAX.04 (2934) 3361
福島工場	TEL.024 (533) 2244	FAX.024 (534) 2139



安全に関するご注意  
ご使用前には必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

AA730-20110301PDF